

ウォシュレット® ネオレストハイブリッド（便器部）

BPX

◆ “ウォシュレット” はTOTOの登録商標です。

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意（安全のために必ずお守りください）

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表 示	意 味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

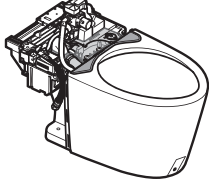
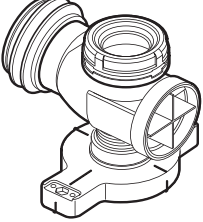
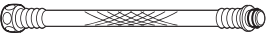
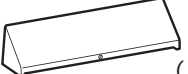
※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。
お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	 は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「禁止」を示します。		 は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。
---	--	---	---

 注意	
	便器に強い力や衝撃を与えない 便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	給水フレキホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない 給水フレキホースが破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	止水栓を開けたままで、給水フィルターを外さない 止水栓を閉めないで水が噴き出して、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 正常な取り付けができなくなる可能性があります。
	設置工事は、この説明書に従って確実に行う 故障や水漏れの原因になります。

同梱部品

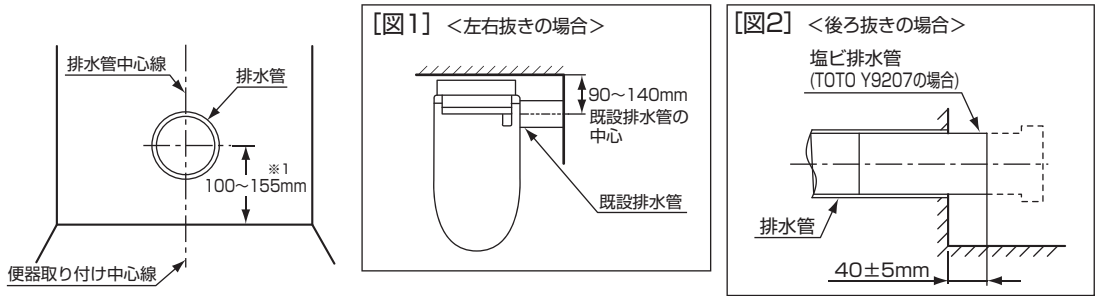
※部品があるか、下記を参照して確認してください。

便器本体	マルチ排水ソケット	固定片
 (1個)	 排水ソケット (1個) ※パッキン付き	 固定片 (1個)  接着ブロック (1個)  木ねじ (φ6×40:2本)
すっきりパネル		
 すっきりパネル(左) (1個)	 すっきりパネル(右) (1個)	
給水金具	固定金具類	その他
 止水栓 (1個)	 六角ボルト (2本)	 止め金具 (2個)
 床継手+分岐金具 (1個)	 ナット (2個)	 ワッシャー (2枚)
※便器同梱のフィルター付き止水栓を必ず取り付けてください。		
 ストレート管 (1個)	 フランジ (1個)	 施工説明書 (1部)
 クイックファスナー (1個)	 木ねじ(床継手用) (φ4×30:4本)	 開閉工具 (1個) ※すっきりパネル裏側に 貼り付けてあります。
 給水ホース (1本) ※パッキン付き		 位置決めシート (1枚)
給水ホース		背面カバー
		 (1個)

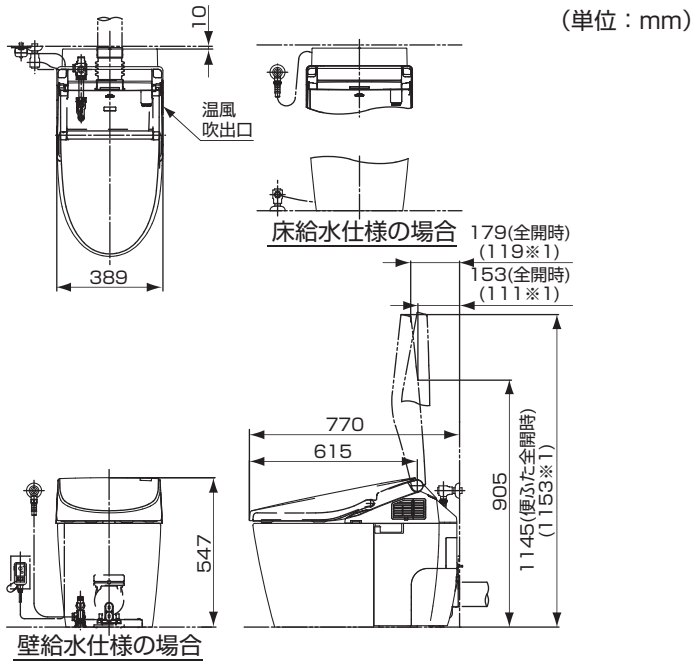
取り付け前のご注意

＜別途手配いただくもの＞
左右抜きの場合・・・排水ジョイント(HP82S)、排水エルボ(HP967)
後ろ抜きの場合・・・排水ジョイント(HP82S)

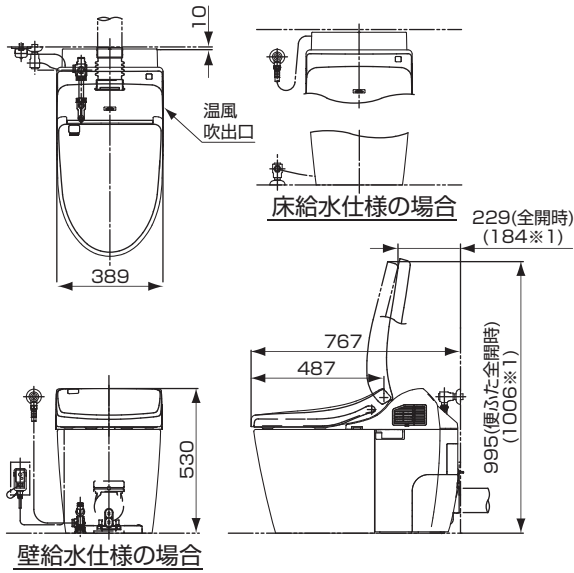
- ・取り付けに必要なトイレスペースを確保するとともに、ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
- ・室内暖房付きの場合は温風吹き出し口から150mm以上の空間を確保してください。(壁が変色する原因となります)
- ・ネオレストAH・RHタイプは、後ろ壁に床面から高さ1400mm以下の棚やキャビネットなどがあると、リモコンの受信条件が悪くなり、リモコンを操作しても本体が反応しないことがあります。
(棚、収納キャビネットは下端 FL+1400mm以上を目安としてください)
- ・商品への通電および通水は取り付け作業をすべて終えてから行ってください。
- ・連結ホースの先端接続部にキズを付けないようにしてください。
- ・電源は交流100V（50/60Hz）、定格消費電力は
AH1・RH0・RH1:1281W、AHW・RHW:1283W、AH2W・RH2W:1378W
電源コードの長さは約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
- ・給水圧力は最低必要水圧(流動時)0.05MPa（10L/分）、
最高水圧(静止時)0.75MPaです。この圧力範囲でご使用ください。
- ・施工前に給水管取り出し位置が次頁「給水位置の確認」に含まれていることを確認してください。
- ・既設排水管の中心から床面までの距離が100～155mm(※1)であることを確認してください。
- ・左右抜きの場合【図1参照】
既設排水管の中心から後方壁面の距離が90～140mmであることを確認してください。既設排水管の長さ調整は、排水エルボ（HP967）に同梱の位置決めシートの対応範囲にあわせてカットしてください。
※排水ジョイントとの接続代は40mm以上確保してください。
- ・後ろ抜きの場合【図2参照】
既設排水管を壁から40mm残してカットしてください。
- ・止水栓を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。



商品セット図
(施工完了図)
AHタイプ



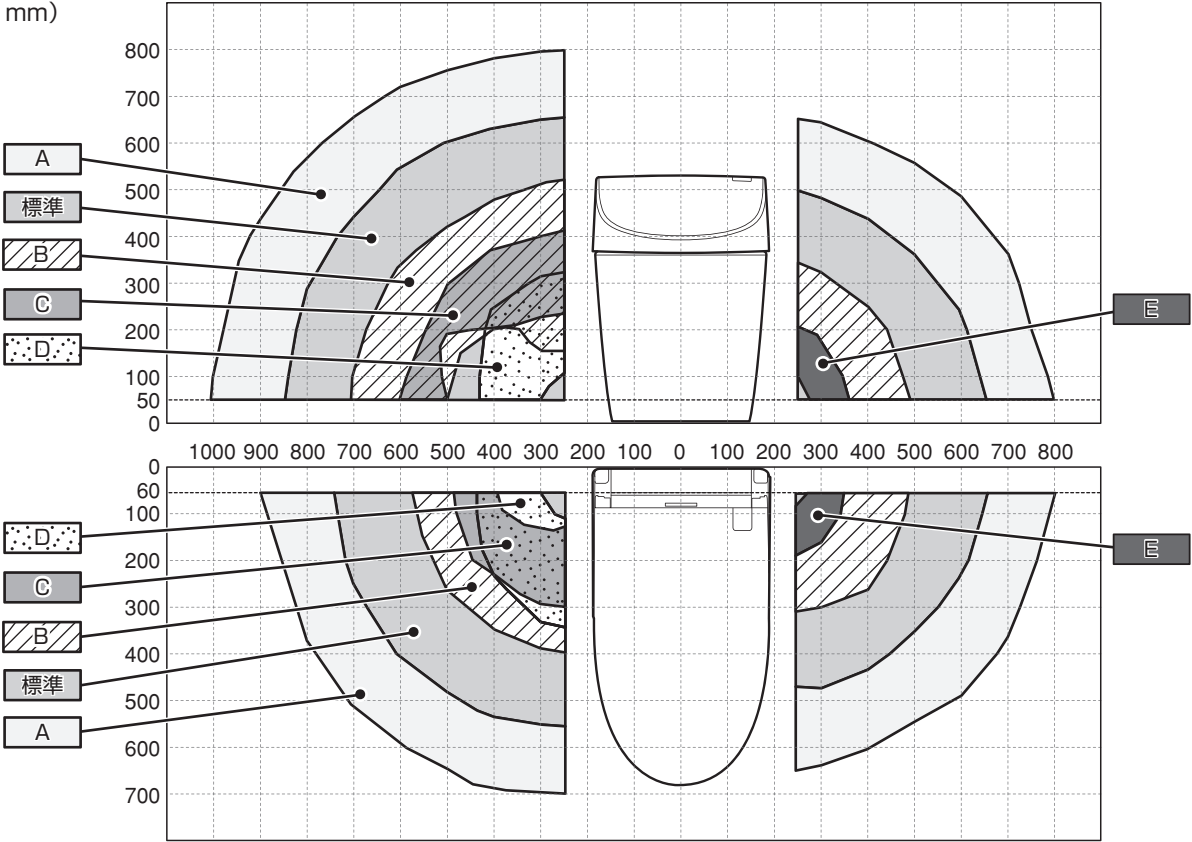
商品セット図
(施工完了図)
RHタイプ



※1 お掃除リフト時の寸法となります。

給水位置の確認

(単位：mm)



※給水ホースが折れないように接続方向を調整してください。
給水ホースが折れると水が流れなくなったり、水漏れするおそれがあります。

注意



給水位置の真下に電源コンセントを設置したり、給水ホースと電源プラグ・電源コンセントを接触させない
結露水などにより、電源コンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。



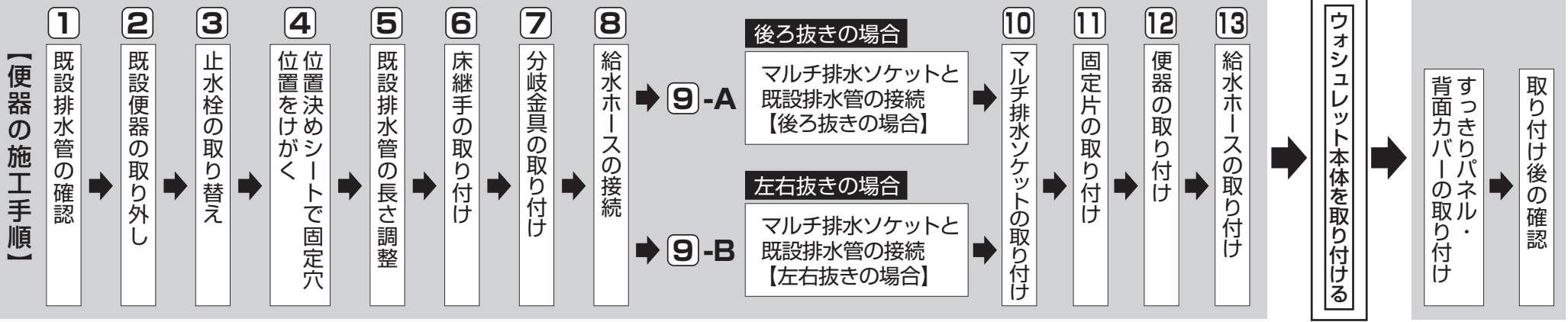
給水管取り出し範囲に止水栓取り出し位置があることを確認する
給水位置が適切でないと、止水栓が商品に干渉するおそれがあります。

給水位置	大便秘器用給水ホース品番	ホース長さ	対応範囲(左図参照)
標準	同梱の給水ホースをご使用ください	700mm	標準の範囲の最適長さです。
A	TN111L86	860mm	Aの範囲の最適長さです。
B	TN111L552	550mm	Bの範囲の最適長さです。
C	TN111L45	450mm	Cの範囲の最適長さです。
D	TN111L40	400mm	Dの範囲の最適長さです。
E	TN111L37	370mm	Eの範囲の最適長さです。

- 給水ホースの到達範囲を示したものです。ホース長さ、給水位置によってはホースが大きくなる場合があります。
- TN111L37は長さ調整用の継手を使用しない場合の範囲を示しています。
- 前提条件—
 - 左壁、左床給水の場合、床継手は標準位置に取り付けとなります。
 - 右壁、右床給水の場合、床継手を位置決めシートの床継手取付範囲の右側寄りで取り付けとなります。
- ※標準ホース(L=700)右壁・右床給水の場合も上記と同様の位置に取り付けとなります。

施工手順

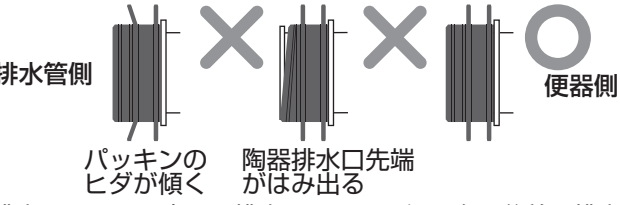
この施工手順に従って便器・ウォシュレットを正しく取り付けてください。(は本紙、 はウォシュレットの施工説明書をご参照ください)



※上記は左給水の場合の施工手順です。右給水の場合は8ページをご参照ください。

各部のなまえと施工のポイント

ポイント⑤
①火や熱で加工したり、切ったりしないでください。
②溶剤や接着剤を塗布するとパッキンが溶けるおそれがあります。
③取り付けには必ず水石けんを使用してください。
水石けんを使用しないとパッキンが切れるおそれがあります。
④取り付け後は必ず水溜試験を行い、水漏れしないことを確認してください。
⑤取り付け後、水漏れる場合はPシール(TOTO品番：TZ106A)をパッキンと排水口の境目に充てんしてください。
排水口にパッキンを取り付けた際の状態について、以下を確認してください。
【パッキン側面図】



排水ソケットの高さ、排水ソケット口径の陶器公差・排水
管の高さの施工誤差によっては、パッキンがはみ出すことが
あります。
水溜試験の結果、水漏れしていなければパッキンがはみ出
していても品質的に問題はございません。

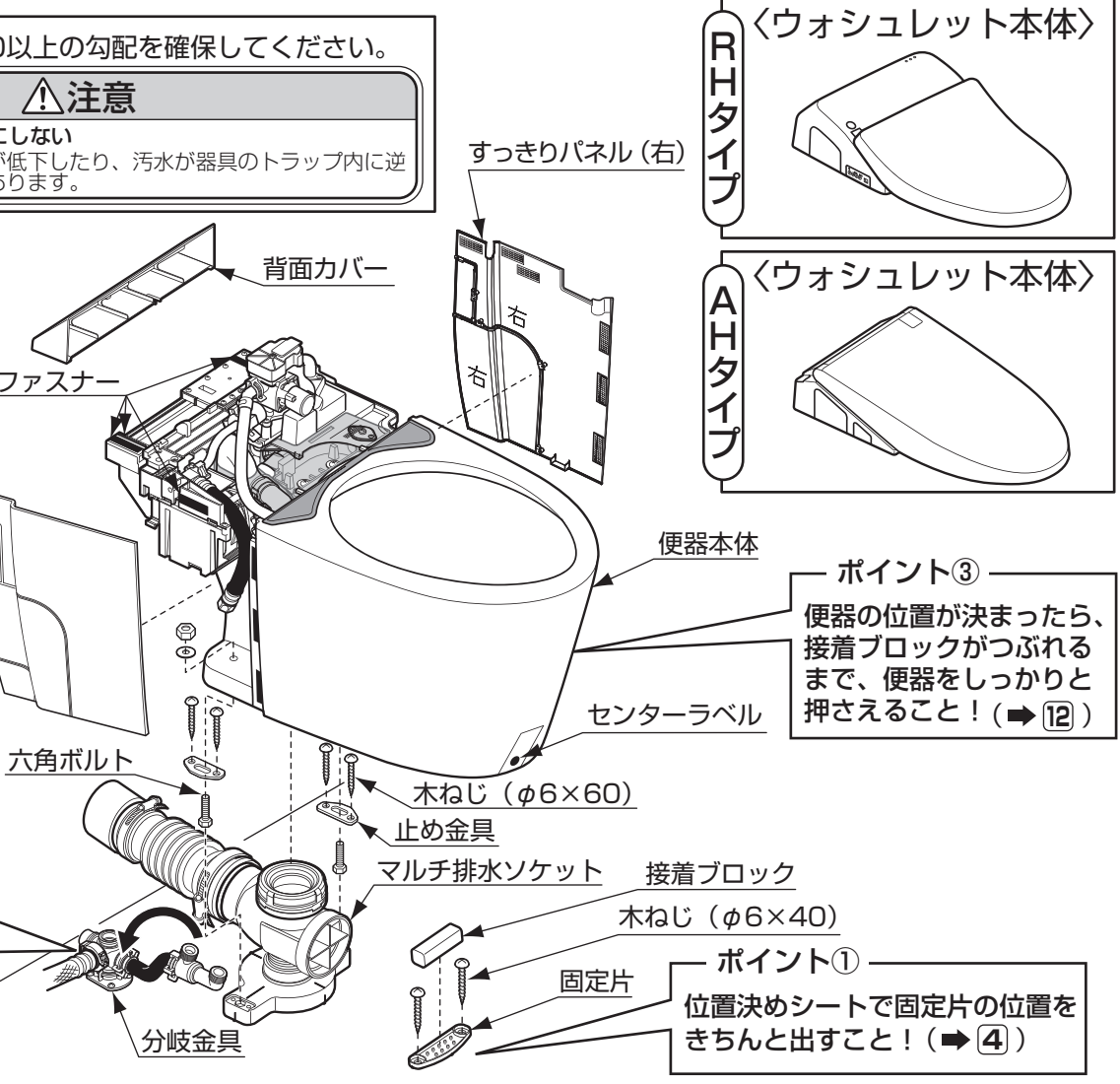
ポイント⑥
排水管は、必ず1/50以上の勾配を確保してください。

注意

排水管を逆勾配にしない
器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆
流するおそれがあります。

ポイント④
すっきりパネルの
取り付けはウォシュ
レット本体を取り付
けたあとに行うこと！

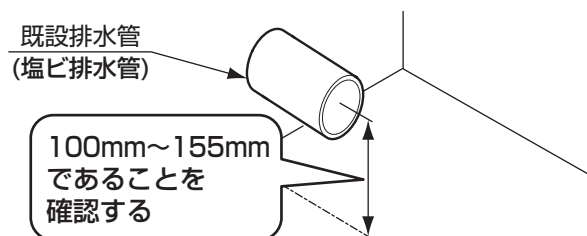
ポイント②
便器を取り付ける際は、
分岐金具を外向きに向
けること！(➡12)
外向きにしないと、便器
本体取り付け時に、便器
本体または分岐金具が破
損するおそれがあります。



取付方法

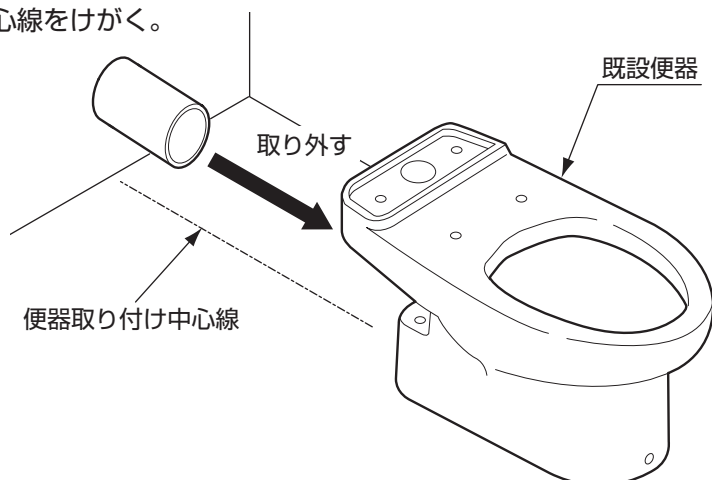
1 既設排水管の確認

既設排水管が塩ビ排水管であることを確認する。
また、排水方向、排水心高さを確認する。
※既設排水心高さは、100～155mmであることを確認してください。
※排水方向が左右抜きの場合、排水エルボ（HP967）が必要となります。



2 既設便器の取り外し

- 1 既設便器を取り外す。
- 2 便器取り付け中心線をけがく。



3 止水栓の取り替え

既設の止水栓を取り外し、付属の専用止水栓（ストレート管）を取り付ける。
※ねじ部にはシールテープを巻いて取り付けてください。

※便器同梱のフィルター付き止水栓を必ず取り付けてください。
ゴミかみによる止水、吐水不良になるおそれがあります。



※オプションホースの接続については、オプション品同梱の施工説明書を確認してください。

※ここからは左給水の場合の施工手順です。
右給水の場合は8ページをご参照ください。

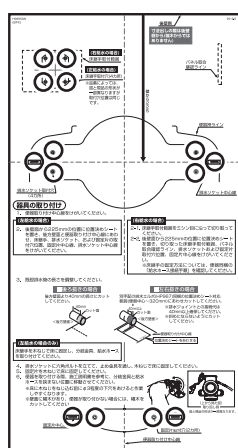
4 位置決めシートで固定穴位置をけがく

- 1 位置決めシートを後方壁面と便器取り付け中心線にあわせるように置く。
- 2 床継手取付穴位置、固定片取付穴位置、マルチ排水ソケット取付穴位置をけがく。
- 3 マルチ排水ソケット台座部の中心線をけがく。

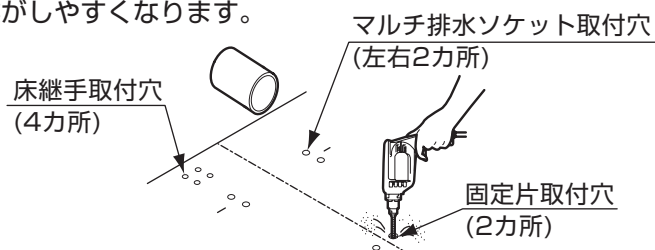
<けがく箇所>

- ・床継手取付穴位置（4カ所）
- ・マルチ排水ソケット取付穴位置（4カ所）
- ・固定片取付穴位置（2カ所）
- ・マルチ排水ソケット台座部の中心線（2カ所）
- ・固定片中心線（2カ所）

※右図の ○、合計14カ所を
けがいてください。



※床に木ねじをねじ込む前に、φ3程度の
下穴をあけると作業がしやすくなります。



5 既設排水管の長さ調整

⚠注意

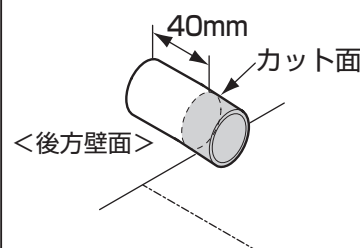


必ず実行

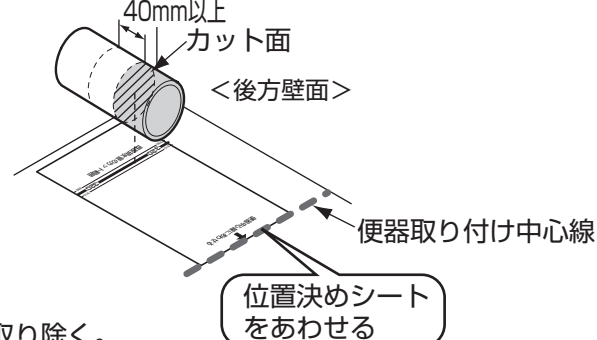
既設排水管切断面は、斜めにならないようカットする
斜めにカットしたまま施工すると、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
既設排水管切断面のバリなどは、必ず取り除く
バリなどが残ったまま施工すると、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

- 1 既設排水管をカットする。
 - ・後ろ抜きの場合・・・後方壁面より40mmの長さにカット
 - ・左右抜きの場合・・・排水エルボ同梱の位置決めシートにあわせ対応可能範囲内（320±10mm）にてカット※排水ジョイントとの接続代は40mm以上確保してください。
※斜めにならないようカットしてください。

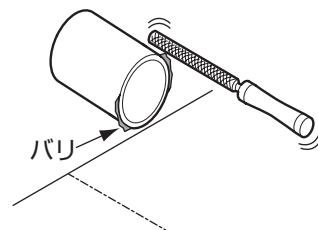
<後ろ抜きの場合>



<左右抜きの場合>

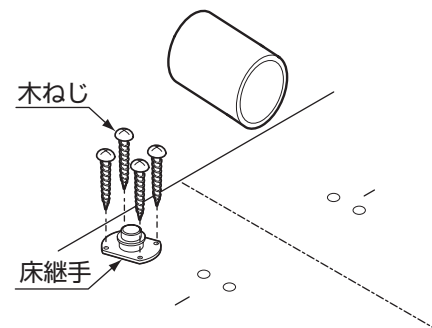


- 2 既設排水管切断面のバリを取り除く。



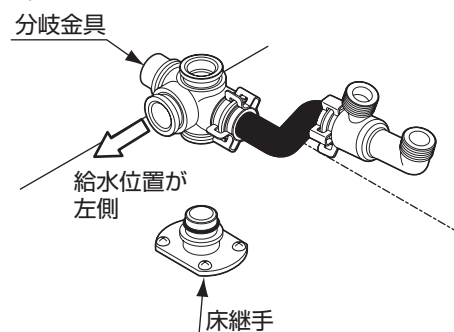
6 床継手の取り付け

- 1 位置決めシートを外す。
- 2 分岐金具から床継手を外し、床継手を所定の位置に木ねじで固定する。

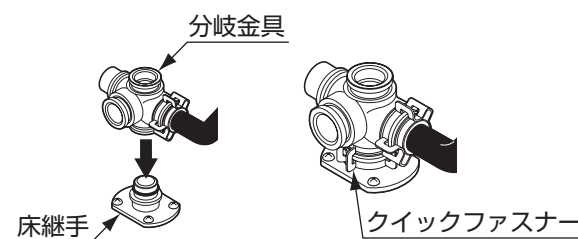


7 分岐金具の取り付け

- 1 給水位置を確認し、分岐金具の向きをあわせる。
※分岐金具の向きは、給水位置が左右どちらにあるかによって異なります。
※結束バンドは切らないでください。

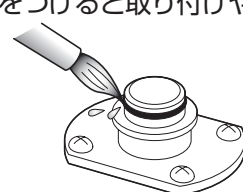


- 2 分岐金具を床継手に取り付け、クイックファスナーで固定する。



ワンポイント

床継手に分岐金具を取り付ける場合は、リング部分に水をつけると取り付けやすくなります。



8 給水ホースの接続

⚠ 注意

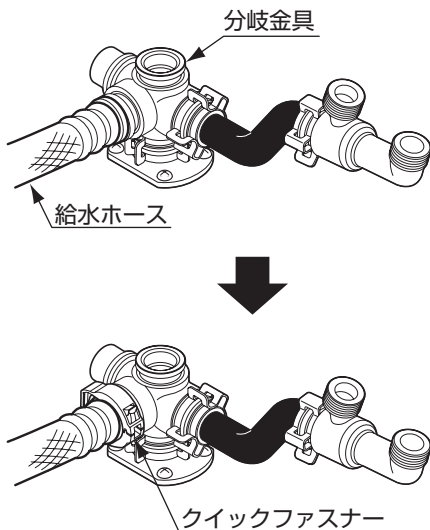


必ず実行

- ・分岐金具と給水ホースはすき間ができないように確実に押し込む
- ・クイックファスナーは正しく取り付け、目視などで確認する
- ・クイックファスナーのカバーが閉まらない場合は、クイックファスナーが正しく接続されていない可能性があり、そのまま使用すると水漏れの原因になるので、必ずクイックファスナーを取り外して正しく接続し直す

取り付けが不十分な場合、外れて水漏れし、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

分岐金具に給水ホースを接続し、クイックファスナーを取り付ける。



このつづきは、

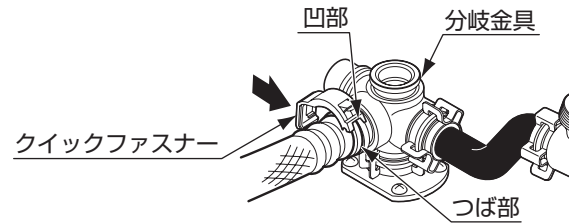
後ろ抜きの場合は **9** - A へ

左右抜きの場合は **9** - B へ

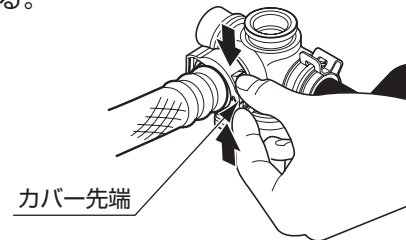
進んでください。

クイックファスナーの取り付けかた

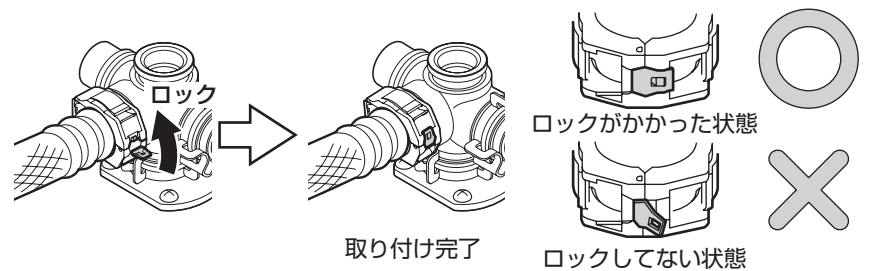
- ① 分岐金具と給水ホースとのつば部にクイックファスナーカバー先端の凹部をあわせ、真っすぐ押し込む。



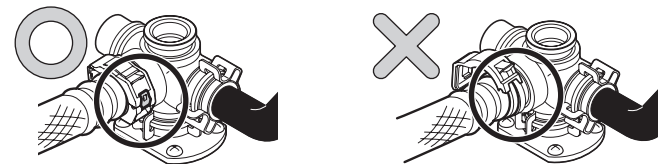
- ② クイックファスナーは、カバーの先端を「カチッ」と音がするまで、指先で確実に閉める。



- ③ ロックを確実にかけ、カバーが開かないことを確認する。



- ④ クイックファスナーが確実に閉まっていることを目視などで確認する。



後ろ抜きの場合

9 - A マルチ排水ソケットと既設排水管の接続

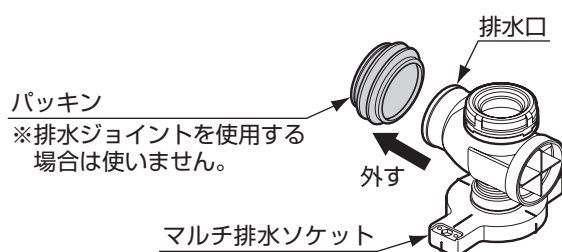
⚠ 注意



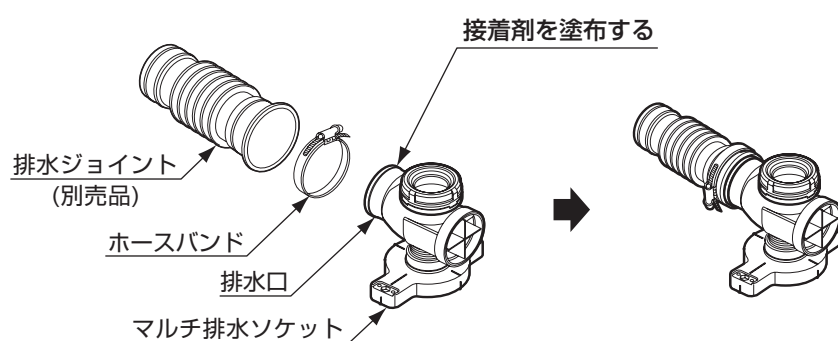
必ず実行

ホースバンドでの固定の際には、排水ジョイントにシワができないように締め付ける
水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

- ① マルチ排水ソケットの排水口についているパッキンを取り外す。

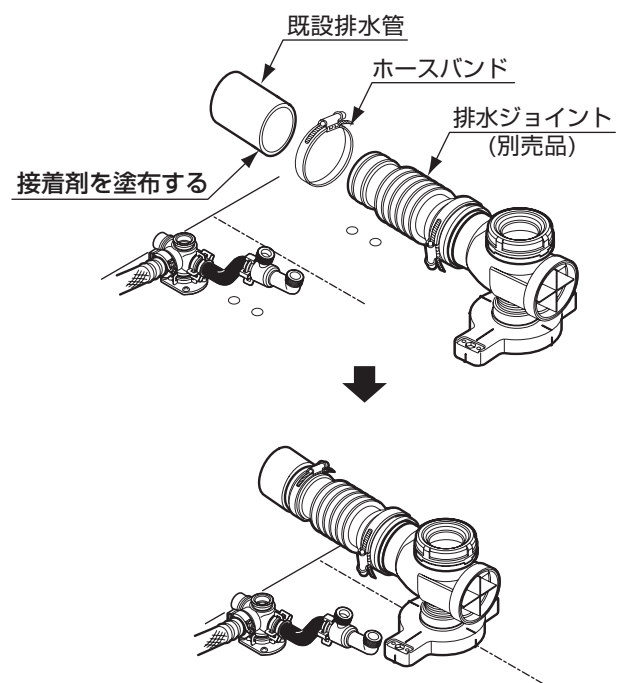


- ② マルチ排水ソケットの排水口に排水ジョイント(別売品：HP82S)を取り付け、接続部をホースバンドにて固定する。



- ※排水ジョイントは、TOTO製をお使いください。
- ※塩ビ用接着剤を塗布してください。

- ③ 既設排水管に排水ジョイントを取り付け、接続部をホースバンドにて固定する。
※塩ビ用接着剤を塗布してください。



このつづきは、

10 へ

進んでください。

左右 抜きの 場合

9 - B マルチ排水ソケットと既設排水管の接続

⚠ 注意



必ず実行

ホースバンドでの固定の際には、排水ジョイントにシワができないように締め付ける

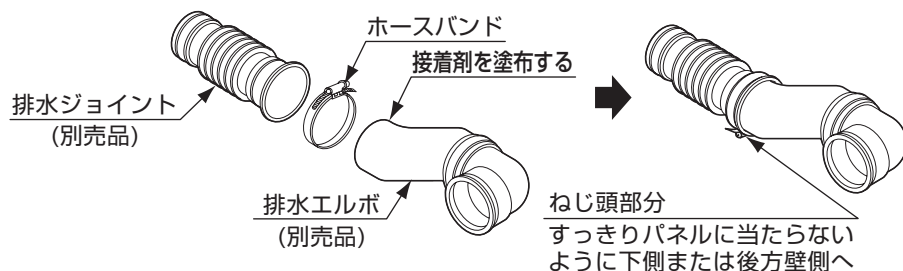
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

- ①排水エルボ（別売品：HP967）に、排水ジョイント（別売品：HP82S）を取り付け、接続部をホースバンドにて固定する。

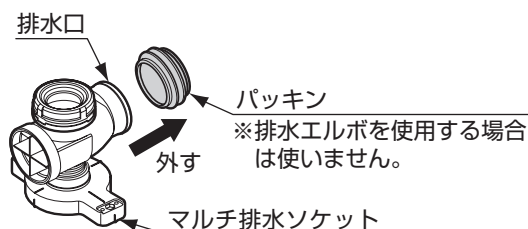
※排水ジョイントは、TOTO製をお使いください。

※塩ビ用接着剤を塗布してください。

※ホースバンドの固定は、ホースバンドのねじ頭部分がすっきりパネルに当たらないように、下側または後方壁側へ回しておいてください。



- ②マルチ排水ソケットの排水口についているパッキンを取り外す。



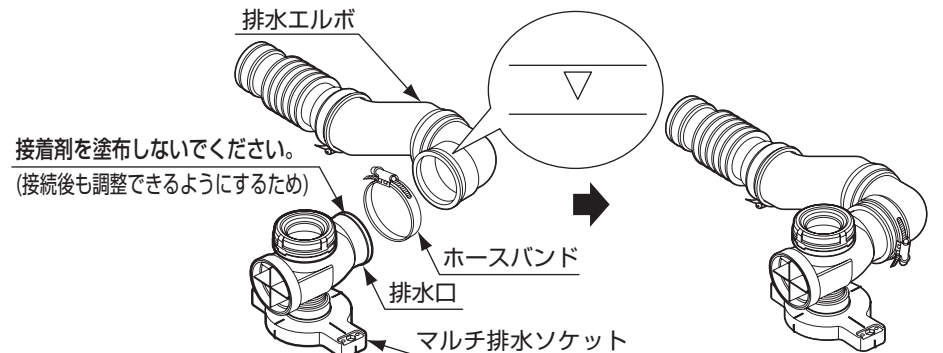
- ③マルチ排水ソケットの排水口に排水エルボを取り付け、接続部をホースバンドにて固定する。

※ここには、接着剤を塗布しないでください。

（接続後も調整できるようにするため）

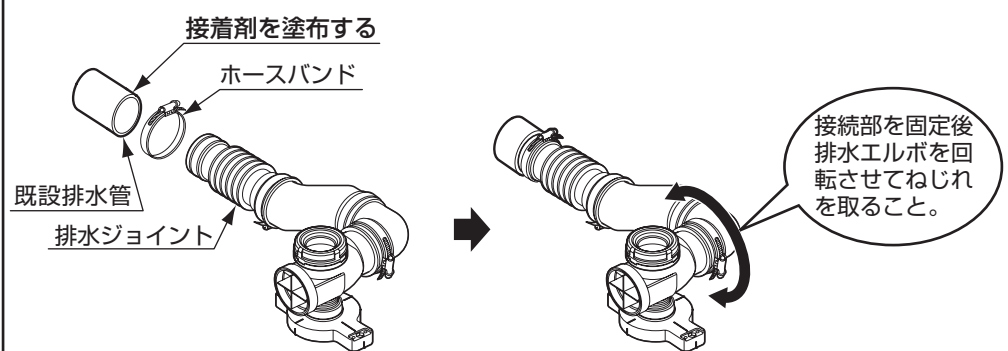
※排水エルボは必ず突き当たるまで差し込んでください。

※排水エルボの ▽ マークが真上にくるようにしてください。



- ④既設排水管に排水ジョイントを取り付け、接続部をホースバンドにて固定する。

※塩ビ用接着剤を塗布してください。



このつづきは、**10** へ 進んでください。

10 マルチ排水ソケットの取り付け

⚠ 注意



必ず実行

マルチ排水ソケット台座部の六角穴に、六角ボルトの頭部を確実にめ込む。確実にめ込まれていないと、便器がガタつくおそれがあります。

排水ジョイントによる排水管とマルチ排水ソケットとの接続においては、逆勾配とならないように注意する。器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆流するおそれがあります。

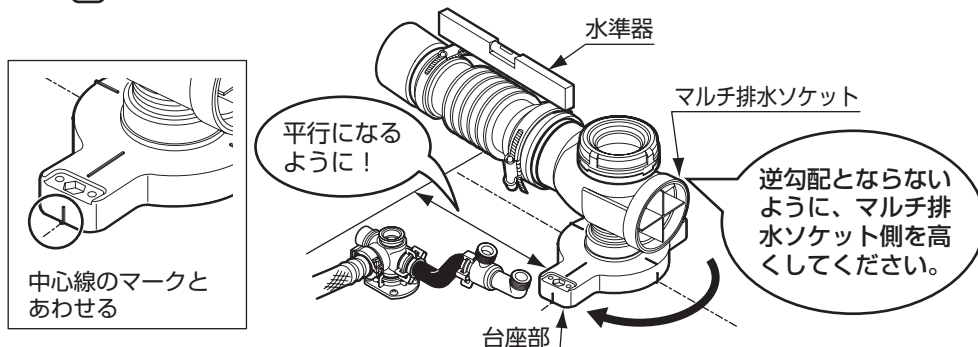
排水ジョイントや排水エルボがつぶれたり無理な力が加わっていないか確認する。排水性能が低下したり、排水ジョイントや排水エルボが破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

- ①逆勾配にならない高さになるようにマルチ排水ソケットの台座部を回転させ、マルチ排水ソケットの稼動範囲で高さ調整する。

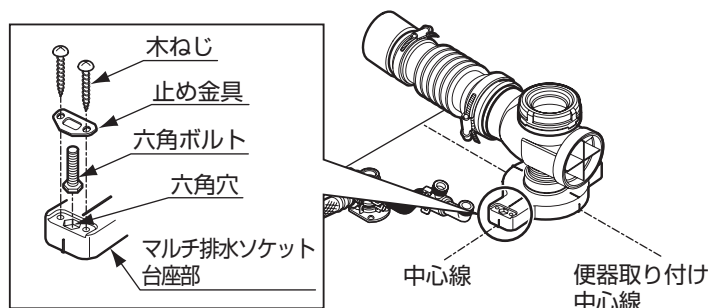
※マルチ排水ソケットの高さ稼動範囲は、120～155mmです。

- ②台座部が後方壁面に平行になるように調整して、便器の位置決めシートでけがいた位置に設置する。

※ **4** でけがいたマルチ排水ソケット台座部の中心線にあわせてください。



- ③マルチ排水ソケット台座部は所定の位置に六角ボルトを立て、六角ボルトに止め金具を通したうえで、木ねじで床に固定する。

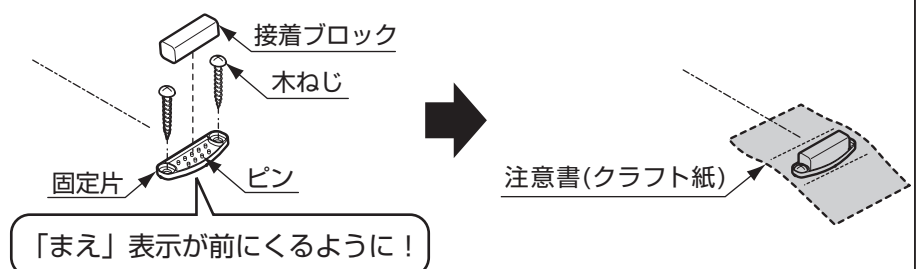


11 固定片の取り付け

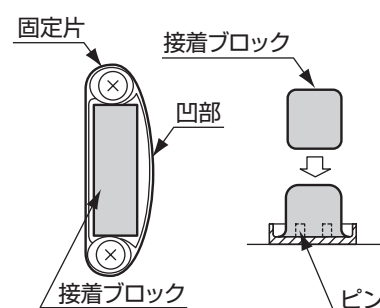
- ①固定片を所定の位置に木ねじで固定する。

- ②固定片は、下図のように接着ブロックを固定片の凹部のピンに差し込み、その後指で軽く押す。

- ③接着ブロックの上に付属の注意書（クラフト紙）をかぶせる。
※印字のないツルツルの面を下向きにしてください。



<接着ブロックについて>



※施工直後のやり直しの際は、接着ブロックの形を左図のように整えてください。

※接着ブロックの方向性は特にありません。

※気温が下がると接着ブロックが固くなることがあります。このときは、20～30℃のぬるま湯の中に、包装袋ごと入れて柔らかくして使用してください。

※詳細は、接着ブロックに付属の注意書を参照ください。

12 便器の取り付け

手順1

分岐金具を外向きに倒しながら回す。
(便器に干渉しないように)

注意

便器を取り付ける際は、分岐金具を外向きに回転させておいてください。
外側に回転させないと、便器本体取り付け時に、便器本体または分岐金具が破損するおそれがあります。

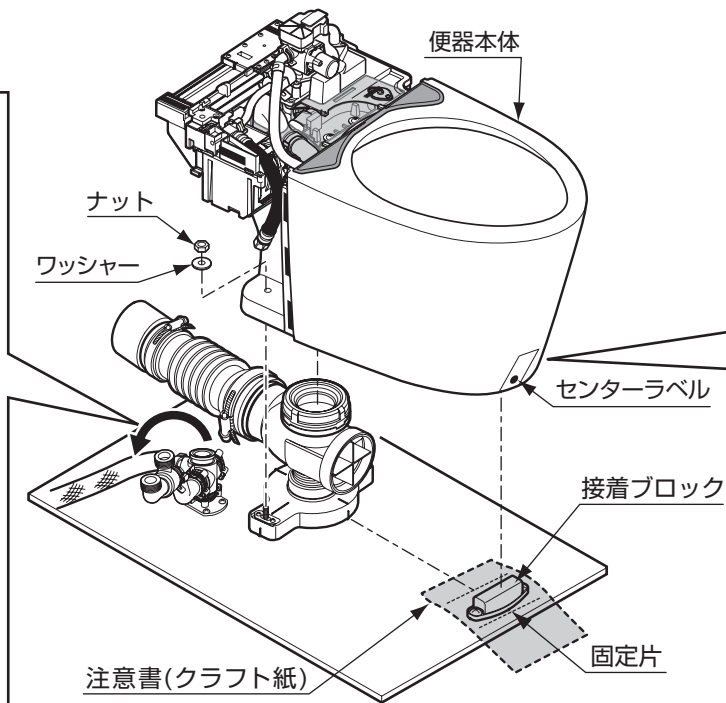


分岐金具の回しかた

便器取り付け時、給水ホース、分岐金具を踏まないように注意してください。



取り回し例 (上から見た図)



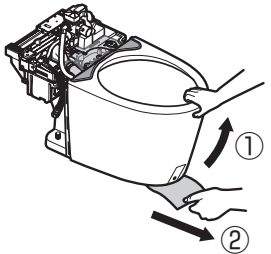
※壁面に幅木があり便器が取り付けられない場合には、幅木をカットしてください。

手順3

① センターラベルを基準に便器の位置を微調整する。

② 便器先端を少し持ち上げ、固定片の上のクラフト紙を引き抜く。

③ 接着ブロックがつぶれるまで、便器をしっかりと押さえ、センターラベルをはがす。



注意

- ・ センターラベルを基準に便器の位置を微調整してください。位置合わせ後、センターラベルをはがしてください。
- ・ 便器が床につくまでしっかり便器を押さえてください。

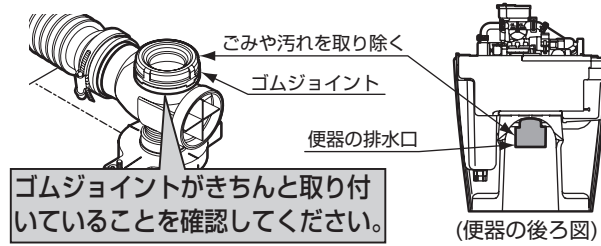
手順2

① 便器排水口および排水ソケットの接続部周辺のごみや汚れを取り除く。

② 便器排水口を排水ソケットに差し込む。
※便器の持ちかたは右下図を参考にしてください。

ワンポイント

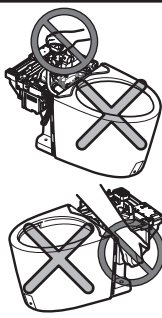
排水ソケットに便器本体を取り付ける場合は、目安として **壁から10～15mm** を目指して真上から取り付けるとスムーズに入ります。
※壁に傷がつかないように注意してください。



便器の持ちかた

注意

機能部を持つと破損するおそれがあります。

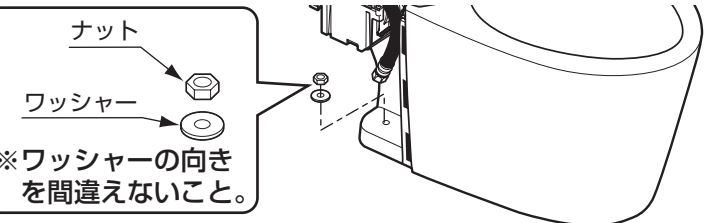


手順4

便器側の取付穴 (2カ所) をワッシャー、ナットで固定する。

注意

ナットを確実に締めてください。
ナットを締め過ぎて便器を割らないように注意してください。



注意

最後の締め増しは、**手締め**により行い便器を割らないように注意してください。

手順5

便器取り付け完了後、分岐金具を元の位置におこす。

13 給水ホースの取り付け

止水栓に給水ホースを取り付ける。

ウォシュレット本体の取り付け

ウォシュレット本体の取り付けはウォシュレット本体同梱の施工説明書に従って取り付けてください。

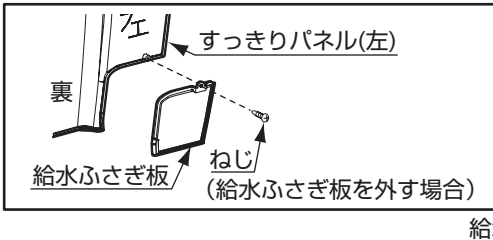
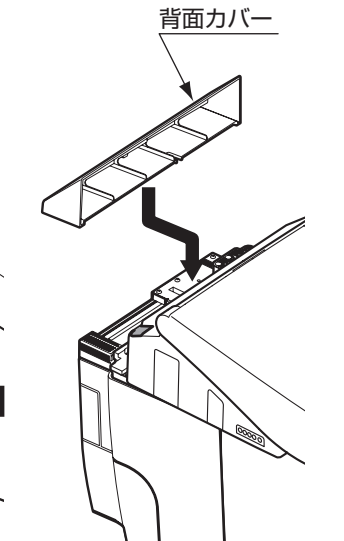
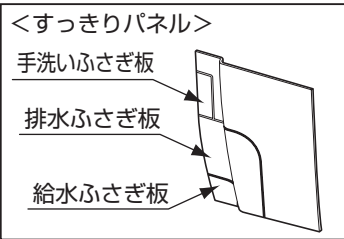
すっきりパネル・背面カバーの取り付け

① すっきりパネル (左または右) から、

必要に応じて {排水ふさぎ板 / 手洗いふさぎ板 / 給水ふさぎ板} を外し、取り外す。

② すっきりパネルを図Aと図B(点線)にあわせてすき間がないように取り付ける。
※面ファスナー部(4カ所)をしっかり押さえてすっきりパネルが外れないことを確認してください。

③ 背面カバーを取り付ける。
(面ファスナー2カ所)

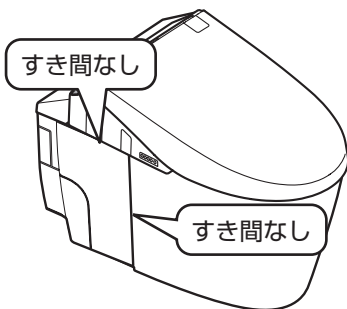


※ すっきりパネルが取り付けられない場合は、給水ホースの接続方法を確認してください。
接続方法は、ウォシュレット本体同梱の施工説明書を参照してください。

<ふさぎ板について>

■の部分を取り外してから取り付けてください。

	【左抜きの場合】	【右抜きの場合】	【後ろ抜きの場合】
左給水	(左) (ねじ3カ所)	(左) (右) (ねじ1カ所) (ねじ3カ所)	(左) (ねじ1カ所)
右給水	(左) (ねじ3カ所)	(右) (ねじ3カ所)	切り欠き不要

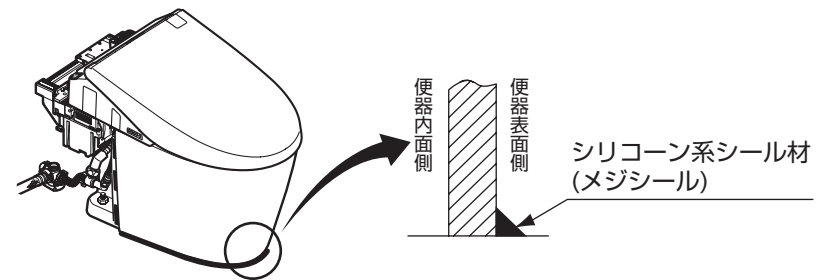


取り付け後の確認

- 試運転（洗浄）後、便器ボウル内に配管の切粉など異物がないことを確認してください。
もらいさびなど異物付着の原因となるおそれがあります。
- 陶器表面に傷などがないことを確認してください。陶器表面に金属類（時計のバンド、ベルトのバックルなど）が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡がつくことがあります。スジ状の跡がついた場合は、当社製品「蛇口まわりのクリーナー」で軽くこすって除去してください。
- 施工したあとは、便器ボウル内に油などの見えない汚れ（コーキング剤、配管用接着剤など）のつく場合がありますので、トイレ用中性洗剤(研磨剤なし)を使って、必ず汚れをふき取ってください。
便器ボウル面の洗い残りの原因となります。

お客様に快適に使っていただくためのポイント

トイレ床材に防水加工がされていないフローリング（木質系）を使用すると、こぼれた小水や結露水などが便器と床材のすき間に入り込み、床シミが発生することがありますので、おすすめできません。
フローリング（木質系）を使用される場合は、便器ハカマ下部周囲に防カビ性のシリコン系シール材(メジシール)を充てんすることをおすすめします。



防振シート HR800S(別売品)

防振シート用固定ねじHH04084(別売品)

集合住宅(RC構造)では、トイレの小便時の音が階下へひびくことがあります。TOTOの防振シートは、床上排水タイプの腰掛便器と床の間に取り付けることで、床を通じて階下へ伝わる小便行為音(伝搬音)を効果的に低減しますのでご利用されることをおすすめいたします。

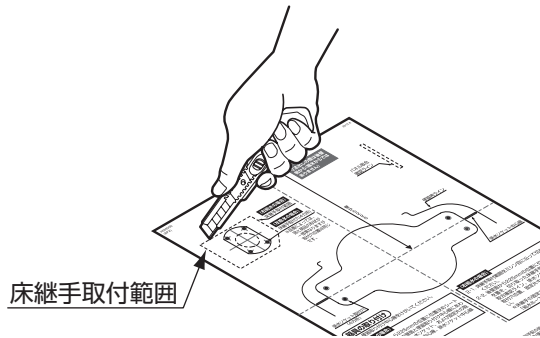
防振シートをご利用される際は、防振シート用固定ねじ(別売品)も必要となります。

防振シートの厚み分(5mm)、排水・壁給水接続位置が上がりますのでご注意ください。

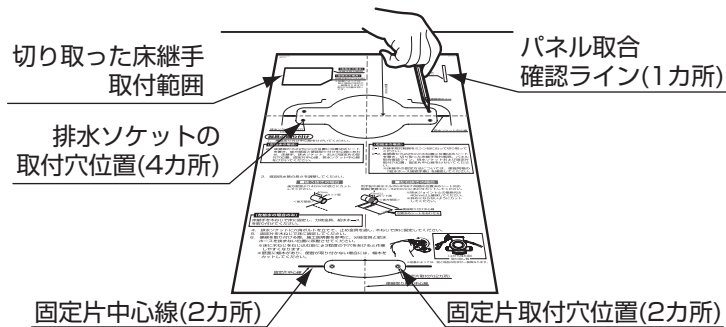
＜右給水の場合＞給水ホース接続手順

① 位置決めシートで固定穴位置をけがく

- ❶位置決めシートの床継手取付範囲をミシン目に沿って切り取る。



- ❷切り取った床継手取付範囲、パネル取合確認ライン、排水ソケットおよび固定片の取付穴位置、固定片中心線をけがく。



② 既設排水管の長さ調整

- ※左給水用と共通ですので、取付方法 ❺ を参照してください。

③ 分岐金具の取り付け

⚠ 注意

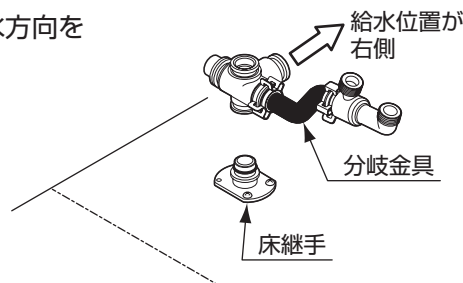


必ず実行

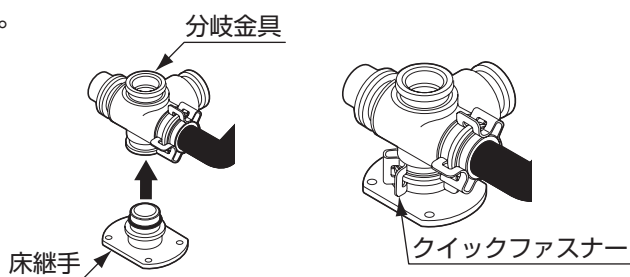
右給水の場合は、位置決めシートで、適切な位置に床継手の下穴をあける

床継手の位置が適切でない場合、給水ホースがパネルと干渉したり、床継手や給水管と接続できないおそれがあります。

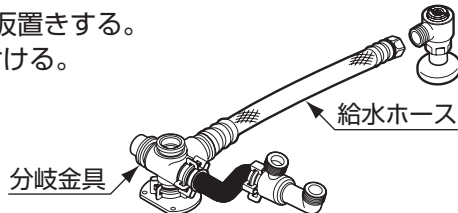
- ❶分岐金具の向きを回転させ、給水方向を右に向ける。



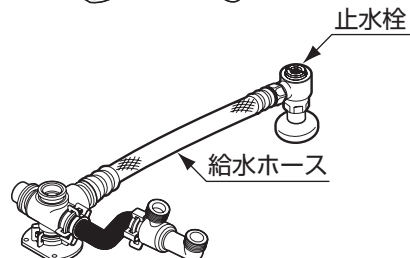
- ❷床継手に分岐金具を取り付け、クイックファスナーで固定する。



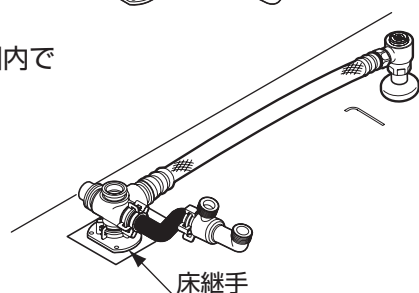
- ❸分岐金具と給水ホースを接続し、仮置きする。
1) 分岐金具と給水ホースを取り付ける。



- 2) 止水栓に給水ホースを取り付ける。



- 3) 位置決めシートでけがいた範囲内で床継手を仮置きする。

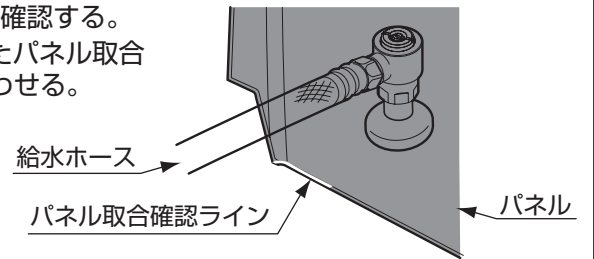


注 意

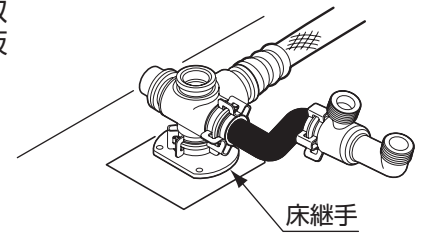
このとき、床継手の下穴はまだあけないでください。

③ 分岐金具の取り付け(つづき)

- ❹給水ホースとパネルの位置を確認する。
1) 位置決めシートでけがいたパネル取合確認ラインにパネルをあわせる。



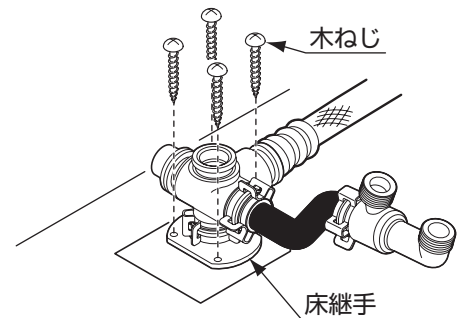
- 2) ホースとパネルが干渉しない位置に、位置決めシートでけがいた床継手取付範囲内で床継手を適切な位置に仮置きする。



- ❺床継手を固定する。
・仮置き後、給水ホースとパネルが干渉しないことを再度確認し、床継手を木ねじで固定をする。

ワンポイント

取り付けにくいときは、一度分岐金具を外すと取り付けやすくなります。



※床に木ねじをねじ込む前にφ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。

④ 給水ホースの接続

- ※左給水用と共通ですので、取付方法 ❸ を参照してください。

給水ホース接続手順以外の施工手順については、P3～P7をご確認ください。